



## 年頭にあたって

代表理事組合長 高橋 秀樹

令和4年の新春を迎え、組合員並びにご家族の皆様には謹んで新春のお喜びを申し上げます。

また、日頃より農協事業運営に対しまして特段の御理解と御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の営農を振り返ってみますと、春先は降雪の遅れにより土壌凍結が深く春堀りの野菜に被害がありましたが、植付作業は天候に恵まれ、順調に推移いたしました。小麦においては春先から夏場の干ばつ・高温の影響が心配されましたが、開花時期までの好天候により良品であり、過去最高の収量となりました。甜菜については干ばつの影響が見られましたが、8月の降雨により回復し、平年以上の高収量となりました。他の作物につきましても馬鈴薯・豆類は小粒傾向でしたが、平年並みまたは豊作の年といえる収量でありました。酪農においては、デントコーン・牧草共に適期収穫は出来たものの、雨不足による干ばつの影響もあり収量減少となりました。乳量については前年並みとなっておりますが、新型コロナウイルスの影響によるバター・脱脂粉乳の過剰在庫に伴い、生乳生産抑制を余儀なくされ、この影響により乳用雌牛の価格相場が下落しております。また、畜産における個体販売価格も、新型コロナウイルスの影響から脱していない状況であります。令和3年度の農協事業におきましては、11月の仮決算では計画以上の状況となっております。これもひとえに組合員の皆様の日頃の営農努力の賜物と深く敬意を表す次第であります。事業年度も残すところあと2か月あまりとなりましたが、さらに誠意努力して参りますので、組合員の皆様の引き続きの御協力をお願いいたします。

農業を取り巻く情勢は、11月2日に東アジアを中心とした15か国が参加するRCEP協定の発効要件が満たされ、令和4年1月1日に発行予定となりました。RCEP協定の発効により、国際競争のさらなる激化や参加国からの輸入増加が予想される状況であります。また、新型コロナウイルスについても感染拡大の収束が見えず世界中で不透明な経済状況が続いている状況であります。当農協としましても、世界経済の動向を注視していく必要があります。

今後とも地域に根差した協同組合として、組合員を始め地域の人々と共に歩み、「信頼・

利用・満足される J A」の経営理念を基に、役職員一丸となり、令和4年度の事業を進めて参る所存でありますので、引き続き組合員の皆様のご協力をお願い致します。

新年度は第9次中長期計画のスタート年であり、組合員の皆様から頂いたアンケート結果に基づき、現在5ヶ年計画を策定しております。組合員の皆様には中長期計画の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和4年も天候に恵まれ、災害もなく、豊穰の秋を迎える事ができます様、併せて組合員ご家族の皆様のご健勝と、一日でも早く新型コロナウイルスの終息を迎える事を祈念して新年のご挨拶といたします。



## 令和4年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月～8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によっては、生育が大変、心配されたものの、おおむね平年作を確保することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国にも影響があり、農作業の人材確保にも大きな課題となっておりますので、北海道、全国連とも連携し、J Aグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJ A北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJ A経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、J Aグループ北海道を取り巻く環境が急激に変化しており、このような環境に適応していくには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返すことで、変化の波をJ A運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組

んでいくことが重要となります。

結びになります。本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持っており、生命の誕生を宿す意味を表します。一方、十二支の「寅」にも壬と同様に、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



## 新年を迎えて

札幌農業協同組合 代表監事

組合員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、組合員の皆様方におかれましては、日頃より日々の営農と併せて地域の振興、社会の発展に向けての多大なご尽力をされていることに対して敬意と感謝を申し上げます。

令和3年を振り返りますと、新型コロナウイルスの猛威の中での営農活動だったように思います。その様な中、年明けまで根雪とならず、7月も猛暑日が多くなるなど少雨傾向となりました。その様な天候の中、春耕期の作業、牧草の収穫、小麦の収穫と順調に進みました。9月以降は周期的に降雨があり、馬鈴しょ、豆類、てん菜、長芋の収穫に影響がありましたが、総じて堅調で豊作の1年となりました。特に小麦においては製品数量で反当り730kg以上、品質もよく大豊作となりました。豆類においても7月下旬の猛暑の影響が心配されましたが、小豆においては計画以上の集荷量、金時類においては反収こそ計画を下回りましたが、品質は平年並みとなりました。馬鈴しょにおいては小玉傾向でしたが、栽培面積増により計画以上の集荷量となり、てん菜においても収量、糖分とも平年作以上が見込まれております。畜産においても、猛暑の影響が心配されましたが、生乳の取引量も概ね計画通りに推移しております。個体販売も販売単価が安定しており、計画通りに推移しています。これからは集荷品の有利販売に努めて頂きたいと思っております。

農業情勢は農業者の高齢化や担い手不足など農業の構造変化の中、今後の動きに注目して行きたいと考えております。農協の運営では、第9次の中長期計画の最初の年です。組合員の皆様の意見を反映しながら取り進めて行きたいと考えております。また、本年よりブロックの再編、役員定数の変更による新しい体制が第74回総会以降に誕生します。

監事会においても、新しい体制の中進むものと思っておりますが、内部監査室と連携して監査業務を通して経営全般の強化に取り組んでいきたいと考えております。また、不祥事防止の観点から役職員との意思疎通を図り、コンプライアンスの徹底、内部統制の強化に取り組んで行きたいと考えております。組合員の皆様におかれましては引き続きご協力を宜しくお願い致します。

本年こそコロナ禍が終息し、災害もなく豊穰の出来秋を迎えることができますよう心か

からお祈り申し上げます、新年の挨拶と致します。



# 新年のご挨拶

札幌農業協同組合 青年部長

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃より青年部活動に対しましてご理解、ご支援、ご協力を頂いております組合員の皆様、農協役職員の皆様には改めて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、春から秋までの長く続いた干ばつの影響を受け、一部被害はあったものの、概ね順調に推移し、各農作物の生育は良好でありました。秋の収穫作業も天気に恵まれ順調に進むと思われましたが、雨が続き思うような収穫作業ができない状況もありました。

青年部活動では、新型コロナウイルスの影響により農協施設周辺の環境整備や、農協役職員とのパークゴルフ大会など、春から夏にかけてのすべての事業を中止せざるを得ない状況でした。しかしながら、秋になり新型コロナウイルスの感染者数も少し落ち着きを見せたことから、食育推進事業を幕別町教育委員会と協力し実施することができました。

食育推進事業では、札幌北小学校、札幌南小学校の2校を対象にビートの収穫体験を行いました。ビートについての青空授業、ビートハーベスターの見学、ビート収穫の3つを青年部員が協力し合って行うことで、とてもよい学びの場となりました。子供たちからたくさんの質問を頂き、一生懸命に楽しんでいる姿を見て私もうれしくなるとともに、食と農業に対して興味を持っていることにとっても感心しました。そんな未来を担う子供たちへ安心安全な農作物を届けることの大切さを改めて感じることができました。

今後も次世代を担う農業者となるべく、各種事業を通じて知識や技術の習得、盟友個々の意識の向上を図り地域農業の振興と魅力ある青年部活動を目指していきたいと考えております。

最後に、本年も変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げますとともに、部員各位、そして組合員の皆様の今年1年のご健康とご多幸を祈念し、年頭の挨拶と致します。



# 新年のご挨拶

札幌農業協同組合 女性部長

女性部員、組合員、ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。平素より女性部活動にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

本年度も前年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した中での活動となり、状況に則した対応となりました。

先の見えない中での事業計画は難しさがあるものの、できるものであればとの思いで下部組織合同交流会としてパークゴルフを計画しました。しかしながら、皆様ご承知の通り、緊急事態宣言下で町内でも施設閉鎖等の措置がとられ、中止と致しました。図らずも罹患された方々にはお見舞い申し上げます。改めて医療現場にも思いを巡らせ、私たち一人一人がお互いに留意したいところです。

状況に波はありますが、少しでもということで12月には生涯学習として映画鑑賞をしました。農業をテーマにしたドキュメンタリー映画です。私たちと同じ農業者の、様々な立場からの声を聞くと考えさせられるものがありました。

実質1年以上の間隔が開いてしまった中での事業でしたが、部員同士が顔を合わせられる喜びを感じ、元気をもらえました。

さて、近年の気候は懸念される材料が多く、適地適作といわれる作物や農畜産物の流通においては先の見えない状況にあります。しかしながら、生産者としても一消費者としても多方面から情報を取得し、交換し合い、つながることで日々の生活もまた持続可能な社会へ向かうのではないかと思います。そのような活動を女性部でも努めてまいります。

最後になりましたが、今後とも女性部活動にご理解いただき、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束と、組合員並びにご家族皆様の今年1年のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

## 青年部幕別町立学校食育推進事業

平成25年度より幕別町教育委員会の主催で実施されている食育推進事業が当農協青年部の協力により開催されました。今回は、10月28日に札内南小学校の3年生91名が途別地区の圃場で、ビートの収穫とトラクター及び機械の見学説明会、青空授業が行われました。

ビートの収穫では、生徒達は大きなビートを探し、無我夢中で作業に没頭していました。一人で引き抜けない時は友達と一緒に協力して引き抜く姿もありました。トラクター及び機械の見学説明会では、青年部員がトラクターについての説明、ビートの収穫方法の説明をしました。青空授業はビートに関する授業を行い、〇×クイズやビートが出来るまでの流れについて学びました。

青年部員は充実感と達成感を得ることが出来たと振り返り、食育事業を大成功で終わることが出来ました。



## 消防訓練

11月2日、農協事務所にて職員を対象に幕別消防署札内支署協力のもと、防災意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練を実施しました。

本年度は事務所内からの火災発生を想定し、火災報知機発報から、火災発生確認・初期消火、消防への通報、屋外避難までの訓練を行いました。また、金融窓口のお客様も想定して、避難誘導も取り入れながら訓練を行いました。

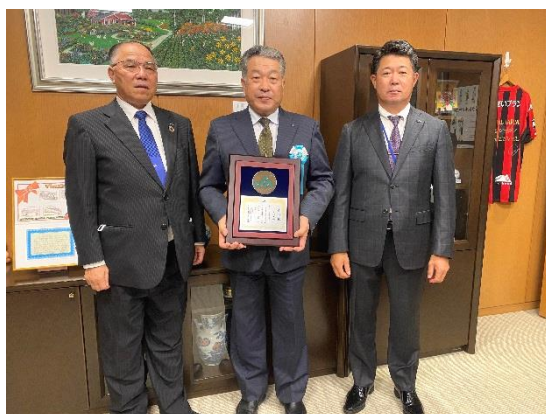
雨天につき消火器の使用方法、初期消火の訓練はできませんでしたが、火災が起きた際の対応や避難する際の経路の確認など室内での動き方についてはしっかりと確認することができました。



## 令和2年度北海道農業協同組合功労者表彰

11月8日、北海道農業協同組合中央会本所にて、高橋組合長が北海道農業協同組合功労者表彰を受賞しました。

北海道農業協同組合功労者表彰は、長年にわたり農業・JA発展のために尽力し、他の模範となるべき功績のあった方に贈られる賞となっており、北海道農業協同組合中央会代表理事会長より高橋組合長へ授与されました。



## 第46回JA十勝青年部大会

11月26日、第46回JA十勝青年部大会が『新承～新たな一歩、これまでの想い～』というテーマのもと開催されました。

今年は、新型コロナウイルスの影響からオンラインでの開催となり部員が農協に集まりモニターを使用して参加しました。

「JA青年の主張」では6単組の代表がそれぞれ発表を行い、当農協からも部員が代表として出場し、「青年農業従事者の考えとこれから」というテーマで発表を行いました。



## 女性部生涯学習会

12月1日、農協2階会議室にて札幌農協女性部による生涯学習会が開催されました。

今回は、農協のスクリーンを使って農業をテーマにしたドキュメンタリー映画を鑑賞し、映画の内容についての解説を聞きました。

コロナ禍で活動を行うことができていなかったため、部員の皆さんは久しぶりの活動に和気藹々とした雰囲気でした。



## 第2回農事組合長会議

令和3年度第2回農事組合長会議が11月26日に農協2階会議室にて開催されました。

本会議は、高橋組合長の挨拶で開会し、固定資産税の処分について、令和4年度農協役員改選に係る役員選任実施日程について、第9次農業振興計画・農協運営計画について、農協事業に対するご意見ご要望についての協議を行いました。

